

# 令和5年度事業計画

## I 令和4年度の取組の概要

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けることが出来るよう「たすけあい ささえあう 福祉でとおのづくり」を基本方針とし所要の事業に取り組めました。

- 1 法人全体「たすけあい、ささえあう、福祉でとおのづくり」の推進
  - (1) オール社協（地域福祉と介護保険事業）による連携・協働の推進
- 2 総務企画
  - (1) 第9回遠野市社会福祉大会の開催（隔年開催）
  - (2) 社会福祉法人等連絡会での連携・協働による事業開発に向けた検討
- 3 地域福祉
  - (1) 新たな地域支え合い推進のため包括化推進員を配置
  - (2) 自立生活相談事業に就労準備支援を追加受託し専任の相談支援員を配置
  - (3) 丸ごと相談員の充実と他法人との連携
- 4 在宅福祉
  - (1) 介護職員等の処遇改善に向けた取り組み
  - (2) 宮守地域における法人連携による相談機能の強化
  - (3) 感染症、災害等の事業継続の取り組み（感染BCP、災害BCP）
  - (4) 適正な介護保険事業の運営検討（ふれあいホーム、ショート上郷）

## II 令和5年度事業の基本方針

多様化する地域社会において、住民一人ひとりの「暮らしと生きがい」、「地域」をともに創っていく「地域共生社会の実現」に向け、「たすけあい ささえあう 福祉でとおのづくり」を基本方針とし所要の事業に取り組めます。

併せて、持続可能な経営基盤を確立するため、生産性の向上と業務の効率化を目指し、社協DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めます。

- 1 法人全体「たすけあい、ささえあう、福祉でとおのづくり」の推進  
〔推進項目〕
  - (1) オール社協による連携・協働による地域福祉の推進
  - (2) 地域福祉活動計画・中期経営計画の中間年としての検証
- 2 総務企画  
〔推進項目〕
  - (1) 勤怠管理システムの導入及び人事・給与・財務会計システムの包括的な構築
  - (2) 第3回ふれあい福祉のつどいの開催（隔年開催）
  - (3) 社会福祉法人等連絡会での連携・協働による事業の実施
  - (4) 理事監事の改選期



<b>(2) 会議及び研修等の開催</b>			
会議の運営	① 事務局会議 ② 三役・課長・所長会議 ③ 理事会 ④ 評議員会 ⑤ 監査	月1回 月1回 月5回 月4回 年4回	ア 情報共有 イ 課題の共有と解決策の提案・決定 ウ 組織の方針・方向性確認 エ 組織運営状況の評価 オ 役員改選
各種委員会の開催	① 経営・資金管理委員 ② 福祉の森管理委員会 ③ ボランティア活動センター運営委員会 ④ 生活福祉資金貸付調査委員会 ⑤ たすけあい更生資金貸付運営委員会 ⑥ 心配ごと相談所運営委員会 ⑦ 成年後見制度法人後見事業運営委員会 ⑧ 評議員選任・解任委員会 ⑨ 役員推薦委員会	年2回 随時 年1回 随時 随時 年2回 随時 随時 随時	
<b>(3) 役職員研修会の開催</b>			
役職員研修の開催	① 県社協主催のセミナー等参加 ② 新任役員研修の実施		
<b>(4) 各種計画の進行管理</b>			
各種計画の推進	① 地域福祉活動計画 2021 進行管理 令和3年4月1日から(5か年)	通年	ア 地域福祉計画と連携 イ 計画の進行管理
	② 中期経営計画 2021 進行管理 令和3年4月1日から(5か年)	通年	ア 進行管理と実績の分析
<b>(5) 総合福祉センターの管理運営</b>			
管理運営	① 遠野市補助金による管理運営		【予算】 <u>9,963 千円</u>
<b>(6) 関係機関及び福祉団体等との連携</b>			
社協支部等及びふるさとづくり市民会議、地区センターとの連携	① 社協会費、共同募金事業への協力 ② 支部長等会議の開催 ③ 社協支部等の運営費、地域福祉活動費の助成 ④ 地域福祉懇談会及び地域福祉推進研修会の実施	①会費 6月、共同募金 10月・12月 ②年2回 ③通年 ④随時	【支部助成予算】 <u>3,898 千円</u> 【一人暮らし高齢者交流事業予算】 <u>660 千円</u>
福祉基金運用益による福祉活動の助成	① 福祉基金設置運営規則第7条8条に基づく ア 継続事業の充実 イ 新たな地域支え合い等のための新規事業の取組み支援	通年 通年 通年	【予算】 <u>6,427 千円</u> ア 継続事業 (ア) 社協事業 (イ) 民間福祉団体助成 イ 新規取組み検討 (ア) 支部活動支援事業

遠野市社会福祉法人等連絡会	① 市内の社会福祉法人、医療法人等がそれぞれの専門性を活かし、連携や協働体制の強化を図り、市民の福祉向上や地域福祉を推進していく。	通年	ア 代表者会議 年1回 イ 幹事会 適宜 <b>新</b> (ア) 市民向け出前講座への講師派遣事業の検討 (イ) 実習受け入れ指導体制の連携検討
福祉バザーへの協力	① 実行委員会で開催 ② 市民からの寄附物品を販売し、益金は福祉団体等の活動財源及び「共同募金」への寄附となる。 ③ 市民の福祉に対する関心や理解を深め、地域での「新たな支え合い」を推進するため、関係団体や中学校と連携して開催する。 <b>新</b> ④ 更なる集客を見越し、とぴあ会場による開催を含めた新たなバザー形態の検討及び実施	9月 10月	【予算】 150千円 ア 遠野地区 10月 (ア) 関係機関と連携 (イ) 中学校との連携 イ 宮守地区 10月 (ア) 躍進みやもりまつりとの連携 (イ) 西中学校との連携
<b>(7) ふれあい福祉のつどい開催</b>			
第3回ふれあい福祉のつどいの開催	① 地域福祉を推進することを目的にテーマを定め開催	11月	【予算】 460千円 ア 市民及び福祉関係者向けの講演会
<b>(8) 人材確保など</b>			
人材確保対策	① 介護実習新カリキュラム習得による実習生の受入れ ② 各種学校との情報交換 ③ 情報発信 (HP・福祉だより等) ④ 遠野市社会福祉法人等連絡会での連携協働	① 通年 ② 通年 ③ 通年	ア 実習生の積極的受入れ イ 実習指導者の育成・確保 (社会福祉士・介護福祉士等)
職員研修の充実	① 職員研修の実施による資質向上 ② 国家資格等の取得の奨励 介護支援専門員、介護福祉士、介護初任者研修、介護実務者研修の受講フォローアップ	① 全体研修 ② 通年	【予算】 100千円
奨学金返済助成事業	① 新卒者雇用促進、現職員離職防止 ア 助成内容 (ア) 助成率 1/2 (年間総返済額) (イ) 助成上限 96,000円/人 ※遠野市奨学金返済支援制度の2/3の額とする。(144,000円) (ウ) 助成期間 最大5年	採用時、随時	【予算】 388千円

## 地域福祉

<b>1 相談支援体制の充実</b> 「困りごと・悩みごと」を住民の身近な地域で、世代や属性を問わず丸ごと受け止め、つながり続ける支援体制を構築します。			
<b>(1) 途切れることのない相談・支援体制の構築</b> 市内9地区（2地区は他法人が担当）へ「丸ごと相談員」を配置。身近な相談窓口として市民の困りごとに対応します。制度の狭間をつなぎ、途切れることのない相談・支援体制の構築を更に強化します。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
相談支援関係	複雑化、複合化した個人・世帯を置き去りにせず、必要な支援を届けるために相談員各々のアセスメント力や気づきの視点等のスキルアップを目的に生活支援チーム内での事例検討（内部研修）を実施する。 ① 社協内の相談支援体制整備と相談職員の育成 ② 課題解決に向けた関係機関、地域住民との連携強化	通年	ア 生活支援チームの設置 定例会 月1回 イ 内部研修会の実施 ・事例検討、CSW研究 年4回
我が事・丸ごと地域づくり推進事業	（遠野市受託事業） 多機関協働事業 ① 包括化推進員1名を健康福祉の里に配置 ② 複雑化・複合化した様々な課題解決の支援のため以下を実施 ア 本人等に対する支援の実施 イ 重層的支援会議の開催 ウ 遠野市支援会議への協力 エ 支援関係機関・包括的相談支援事業所との連携 オ 丸ごと相談員に対する支援 カ 研修会実施・有識者等との連携	通年	【予算】総額 40,813千円 ア 相談対応 随時 イ 重層的支援会議 月1回 ウ 遠野市支援会議への協力 随時 エ 各種会議・研修会への参加 随時 オ 丸ごと相談員との定例会議 月1回 カ 研修会の開催 年2回
	継続的支援事業（丸ごと相談員） ① 地区センターへ丸ごと相談員配置（社協7地区） ② 地区ごとに以下の事業に取り組む ア 相談支援 属性にとらわれない受け止めと解決に向けた関係機関の連携 イ 参加支援 多様な参加をコーディネートする仕組みづくり ウ 地域づくりに向けた支援 居場所を通じた孤立防止と、人と人が支え合うネットワークづくり	通年	ア 会議 随時 （ア）担当地区会議 （イ）関係機関会議 イ 実態把握 （ア）要援護者実態把握 （イ）要援護者基本台帳 全地区で整備・運用 ウ 実施事業 （ア）ニーズ把握・マッチング （イ）プラン作成 （ウ）支え合いマップづくり及び活用 <span style="color:red">新</span> （エ）小さな拠点での支え





	などの支援について基幹社協と連携して取り組む		
障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業	① 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業（県委託事業） 障がい者等から不利益な取り扱い相談を受け、地域で暮らす障がいのある人の権利擁護を推進する	随時	ア 事業の周知 (ア) 相談対応、受付

<b>2 新たな支え合い活動拠点づくりの推進</b>			
支え合いの輪を広げ、誰もが役割を持ち活躍できる地域づくりを推進します。			
<b>(1) 担い手・ボランティア等の育成支援とプラットフォーム機能の強化</b>			
小さな拠点が、地域の課題解決のため担い手やボランティア調整ができるプラットフォームとして機能できるよう、「丸ごと相談員」とボランティア活動センター職員が連携して取り組みます。活動推進のために、遠野市ボランティア活動センターの体制を強化します。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
ボランティア活動センター設置運営	<p>① ボランティア活動センター設置運営 地域住民が自らボランティア活動への参加を促進するための育成及び資源開発など仕組み作りを支援する</p> <p>② インフォーマルな資源開発に向けた取り組み 丸ごと相談員、包括支援センター等の関係機関と連携し、地域における助け合い・支え合い活動の担い手（ボランティア）を創出する支援を行う</p> <p>③ 福祉教育の推進 ア 福祉教育実行委員会の検討 福祉教育推進のための委員会を検討し、参加者や目的ごとに異なるメニューの開拓・情報収集をするイ 福祉教育の実施</p>		<p>【予算】 7,509千円</p> <p>ア 体制強化 (ア) 地域福祉課に本部機能を置き、住民・ちょボラ・地区相談員等との連携を強化する。 (イ) ニーズ把握のための連携（包括、サービス事業所、丸ごと相談員等）</p> <p>イ ボランティア活動センター連絡会議実施 月1回</p> <p>ウ 活動の推進 (ア) キャップハンディ体験 (イ) ボランティア育成講座 ⑦ 手話講座 年2回 ⑧ 生活支援ボランティア</p> <p>(ウ) ボランティア運営委員会 年1回</p> <p>エ ボランティア連絡協議会運営支援</p> <p>オ ボランティア団体・個人の活動支援</p>
災害対応	<p>① 災害を想定し、関係機関と協力し災害対応訓練を実施 ア 災害ボランティアセンター設置運営訓練 イ 災害時、遠野市との「災害ボランティアセンター設置運営協定」に基づく対応</p> <p>② 愛知県大口社協（災害協定締結社協）との連携</p>	随時  随時	ア 関係機関（行政、消防、専門NPO等）との連携 イ 大口社協とのオンライン会議実施

**(2) 小さな拠点における、新たな支え合い、住民福祉活動の推進**

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けることが出来るよう、小さな拠点において支え合いの輪を広げる取り組みを強化していきます。

事業名	事業概要	時期等	達成目標
ふれあい・いきいきサロン 支援助成事業 (市補助・共同募金配分事業)	① ふれあいいきいきサロン支援助成事業 高齢者の閉じこもり防止、介護予防、交流の場として各地域で開催するサロンを支援する	随時	【予算】 <u>2,400 千円</u>  ア 活動費助成 イ 各種助成金案内 (随時) ウ 新規立ち上げ支援 エ 運動指導員派遣 (随時) オ サロン交流会 (年1回) カ 送迎支援 (支部単位)  【送迎支援予算】 550 千円
生きがい活動支援通所事業 (市受託事業)	① 生きがい活動支援通所事業 (通称：サテライト事業) 高齢者の介護予防や健康づくり、生きがい活動の場として専任職員を配置して実施	通年	【予算】 <u>25,120 千円</u> ア 実施場所 市内コミュニティセンター18ヶ所 地区センター3ヶ所
高齢者等の生活支援事業 (市受託事業・自主事業)	① 配食サービス事業 ア 「食」の自立支援 (市受託) イ 在宅支援食事サービス事業 (自主) ② 福祉有償運送事業 ア 外出支援サービス (市受託) イ 移送サービス (自主)	通年	【予算】 <u>10,147 千円</u> 【予算】 <u>1,074 千円</u>  【予算】 <u>4,439 千円</u> 【予算】 <u>2,445 千円</u>
家族介護者支援対策事業	① 家族介護者教室開催事業 (市受託) ② 家族介護者交流事業 (市受託)	通年	ア 各町単位で開催を目指す 【予算】 <u>280 千円</u> イ 日帰り型 40名 【予算】 <u>585 千円</u>

**(3) 高齢者・障がい者・児童、ひきこもり、依存症など領域を問わない拠点 (居場所) づくりの推進**

年齢や性別、心身の障がいの有無に関らず、お互いの個性や尊厳を認め合い、誰もが地域で孤立することなく、何らかの役割を持って共に生活していく地域社会をめざします。

事業名	事業概要	時期等	達成目標
市民交流サロン「ちょボラ」運営	① 市民交流サロン「ちょボラ」運営 市民誰もが気軽に立ち寄り交流できる「まちかど交流サロン」として運営 ア 会議室・展示コーナー・事務機器の貸出	通年	ア 若者フリースペスの実施 (ひきこもり者等の居場所、活動の拠点として) イ 年齢や対象を限定しない、市民の居場所づくり
遠野市地域活動支援センター「カムカム」(Ⅲ型)の設	① 遠野市地域活動支援センター「カムカム」の運営 (「ちょボラ」内に設置) 障がい者総合支援法に基づき、障がいのある人を対象として、創作的活動、生産活動、社会との交流促進の機	通年	【予算】 <u>10,068 千円</u> ア 専任スタッフ 2名 イ ピアスタッフ 2名 ウ 利用登録者 30名 エ 開所日 (火～日)

置運営 (遠野市補助 事業)	会を提供し支援する		オ プログラム活動の実施 (ア) 学びのプログラム (イ) 体験のプログラム (ウ) 交流のプログラム (エ) 就労に向けたプログラム (オ) ピアスタッフによる プログラム (カ) その他 カ 地域との交流促進
在宅障がい 者交流事業 (自主事業)	① 在宅障がい者交流事業 障がい当事者や家族会、関係機関団 体等と協力し、行事を実施	随時	【予算】 300 千円 ア 市民講座、意見交換会 イ はたちを祝う会 ウ ふれあい乗馬 6 回/年 (5~9、11 月) エ バスハイク 1 回/年

<b>3 連携や協働の強化</b>			
地域生活課題の解決に向け、住民と協働して取り組みを進めると共に、あらゆる分野と横断的な連携を推進します。			
<b>(1) 暮らしを支えるあらゆる分野と横断的な連携を推進</b>			
地域生活課題の解決に向け、小さな拠点において住民と協働して取り組みを進めると共に、市内全域において、福祉領域に限らず生活に関わるあらゆる分野と横断的な連携を推進していきます。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
民生児童委員 活動との連携	① 民生委員と連携を強化し地域福祉を 推進		【予算】 87 千円 ア 会長・副会長連絡会への 参加(事務局職員) 月 1 回 イ 地区民協定例会への参加 (地区担当職員) 月 1 回 ウ 広域社協事業(研修会等) の実施 年 1 回
ふれあい農園 事業	農園作業、ほうきづくりによる交流の 場と趣味活動の場の創出 ① ふれあい農園の活用 ア 地域団体や関係機関との連携によ り農園作業の実施 ② 「マイほうきづくり講座」の実施 ア 各地区でのほうき草栽培と「マイほ うき作り講座」の実施	通年	【予算】 133 千円 ア 希望者への種配布によ るほうき草栽培 イ ふれあい農園の活用 ウ フリースペースや地活利 用者等の参加
日常生活用具 貸与事業	生活用具を貸与することにより日常 生活の便宜を図る ① 車イス 疾病や障がいにより歩行困難な方 に対し、10 日以内の貸出 <b>新</b> ② 反射式ストーブ	通年	【予算】 ア 貸与物品の点検、整備 ㊦ 車イス 10 台 ㊧ 反射式ストーブ 1 台 ㊨ 必要に応じて追加 イ 要援護者や困窮者支援に

	困窮等の理由により、冬季間の生活が困難な方への緊急支援として貸出 ③ その他 要援護者や困窮者支援として必要な物品の検討、整備		必要な物品の拡充に向けた取り組み
(2) 災害時要援護者支援のため、平時から住民、行政、関係機関が連携し住民支え合いを強化 令和2年度に実施した「高齢者等見守り体制構築事業(調査)」を基礎データとして、地域で平時も災害時も支え合えるよう取り組みを強化します。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
地域福祉推進 基礎データ管理 運営業務	① 災害時要援護者の調査及び個別計画の作成 障がい者、要介護者、高齢者等に対する訪問調査を行い、災害時の避難行動について計画を作成する  ② 個別計画の管理 各地区センター(福祉センター)毎に個別計画を保管し、閲覧の調整及び管理を行う	通年	【予算】 ア 個別計画の作成、加除、更新  イ 個別計画の保管  ウ 個別計画閲覧の調整、閲覧簿の整備・管理
災害時要援護者支援	① 住民支え合いマップを活用した地域資源と課題の把握、課題解決に向けた支え合い活動の見える化 ② 指定福祉避難所の開設、運営 ア 防災備品の計画的な備蓄 イ 開設時の職員配置(事業所間連携)	通年  随時	① 丸ごと相談員を中心に各地域で実施  ② 指定福祉施設4ヶ所 (ア) ふれあい薬研渌 (イ) ふれあい上郷 (ウ) ふれあい小友 (エ) ふれあい附馬牛

#### 4 広報・啓発活動

住民による支え合い活動が活発に行われるように、役立つ情報の発信や、地域の取り組みなどを積極的に紹介します。

##### (1) 福祉サービスや地域福祉活動の情報発信を充実

事業名	事業概要	時期等	達成目標
情報発信の充実	① 広報委員会の運営 地区相談員や介護保険事業所等との連携を図る。また、必要に応じて法人間連携を図ることにより遠野の福祉促進の一手になる。 ② 福祉だよりの発行 ③ ホームページの更新 ④ 遠野TVの活用 ⑤ 地域の情報をより身近に発信できるよう、ホームページのリニューアル。	年6回  年6回 随時 随時	【予算】 <u>1,955千円</u> ア 福祉だよりの発行 年6回、奇数月第3木曜日 イ ホームページの更新 年48回(月4回) ウ 遠野TVの活用 (随時)

##### (2) 住民福祉活動や社協活動の循環等、また社協会費や共同募金等の循環の見える化を促進

「自分のまちをよくするしくみ」を進めるため、寄付や募金を積極的に呼びかけ、地域福祉の財源確保に努めていきます。

事業名	事業概要	時期等	達成目標
活動と財源の循環、見える化促進	① 地域福祉推進のための財源として募金寄付の見える化、啓発活動	通年	ア 社協・共募事業の広報掲載による PR イ 共募配分金による一般公募枠の事業実績 700 千円 ウ 赤い羽根共同募金の実績額 6,927 千円

## 5 在宅福祉（介護保険事業）

### （1）介護保険事業の活動基盤等強化の取組み

持続可能な適正運営	<p>① 新システムの有効活用（全事業所） 生産性向上、事務作業等の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末、音声入力（訪問看護、デイサービス、ショートステイ）</li> <li>・事業所間での情報共有</li> <li>・レセプト一括送信、合算請求書の発行</li> <li>・統計管理（データ化の業簡素化）</li> <li>・経営分析シート（全社協版）を活用した経営基盤の強化</li> </ul> <p>② 遠野市公の施設指定管理運営 （期間：令和5年4月～令和8年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいホーム4事業所</li> <li>② 新たに指定管理料</li> </ul> <p>③ 配置基準をベースにした適正な人員配置及び専門職種別の業務分担化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいホーム4事業所、ショートステイ上郷</li> </ul> <p>④ ふれあいホーム附馬牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型通所介護事業所への小規模化</li> </ul> <p>⑤ 居宅介護事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 特定事業所加算ⅠまたはⅡの継続取得</li> <li>イ ともり会職員出向による相談支援機能強化継続、相談対応環境の改善（宮守）</li> </ul> <p>⑥ ヘルパーステーション薬研淵</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問入浴介護の事業継続の模索</li> </ul> <p>⑦ 訪問看護ステーションとおの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との連携強化による、医療保険対象者の拡充</li> </ul> <p>⑧ 科学的介護加算（LIFE 加算）の算定検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全サービス事業所</li> </ul>	通年	
-----------	--	----	--

(2) 介護職員等の処遇改善			
介護職員の処遇改善	① 職員の処遇改善を目指した加算取得 ・介護職員処遇改善加算Ⅰ ・ベースアップ等支援加算 ・ <b>新</b> 特定介護職員処遇改善加算	通年	加算総額 37,213 千円
(3) 安定的・継続的に提供される体制の構築			
感染対策の継続強化	① 感染対策指針及び事業継続計画（感染 BCP）の実践 ② 感染状況等に合わせた BCP の修正 ③ BCP に基づく研修、訓練（シュミレーション）の実施	通年	
事業継続に向けた取り組みの強化（災害 BCP）	① 災害事業継続計画（災害 BCP）の策定、研修の実施、訓練（シュミレーション）の実施 ア 災害時の職員行動指針の再構築 イ 非常災害対策（消防計画、洪水避難計画など）の訓練の実施	通年	
人材確保に向けた取り組み	再掲 ① <b>新</b> 介護実習指導者講習の受講 ア 新カリキュラムを取得し、指導力を強化 イ 各種学校への情報提供、実習生の誘致	通年	ア 6 名受講
(4) 地域包括ケアシステムの推進			
認知症への対応力向上に向けた取り組み	① 職員の知識、技術向上 認知症介護実践者研修の受講 ② 認知症の人と家族の会開催事業、認知症高齢者等徘徊 SOS ネットワーク事業、認知症サポーター養成事業への協力	通年	① 5 名取得
地域共生社会実現に向けた取り組み	① 通いの場における専門職による技術支援（理学療法士等）の継続 ※「地域介護予防活動支援事業におけるリハビリテーション専門職による技術支援業務」 ② 訪問介護、訪問入浴、通所介護事業所での障害福祉サービスの提供継続	25 回 / 年  通年	

## 6 介護保険事業所関係

(1) 居宅介護支援事業所		
事業名	経営目標	達成目標
居宅介護支援事業所とおの	【経営目標】 ① 特定事業所加算Ⅰの取得 ② 相談から支援へ迅速に対応し、目標件数を維持 ③ 他法人と連携し、研修の企画による地域全体のケアマネジメントの質の向上を図る	年間目標金額： 33,636 千円 介護保険 31,800 千円 総合/予防 1,440 千円 その他 396 千円

	<p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① 心身や家族の状況に合わせた支援体制を調整する</p> <p>② 丸ごと相談員等と連携を図りながら、住み慣れた地域での暮らしを支える 月1回包括支援センターとのケース検討会の開催</p>	<p>給付件数（月平均）：</p> <p>介護保険 151.7 件 介護予防 20 件 総合事業 10 件</p>
居宅介護支援事業所上郷	<p><b>【経営目標】</b></p> <p>① 新規利用者の開拓、依頼ケースは断らない姿勢の継続。</p> <p>② 地区民協、丸ごと相談員、地区センター等との連携強化。</p> <p>③ 担当件数の適正管理による、年間計画の達成。</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① 訪問面接や電話応対等、懇切丁寧な姿勢。</p> <p>② アセスメント力の向上による適正ケアプランの作成と適切なサービス提案。</p> <p>③ 各種研修を計画的に受講し、更なる資質向上を目指す。</p>	<p>年間目標金額：</p> <p><u>27,077 千円</u> 介護保険 24,384 千円 総合/予防 2,494 千円 その他 199 千円</p> <p>給付件数（月平均）：</p> <p>介護保険 120 件 介護予防 22.4 件 総合事業 23.2 件</p>
居宅介護支援事業所宮守	<p><b>【経営目標】</b></p> <p>① 法人連携による体制強化の継続を図り特定事業所加算Ⅱを継続取得</p> <p>② 医療機関・福祉施設との連携を行い、取得可能な加算を取得</p> <p>③ 関係機関と連携と取り新規利用者の積極的な受け入れ</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① まるごと相談員と連携を取り宮守地区の相談窓口の強化を行う</p> <p>② 地域課題を確認しながら、不足している介護保険サービスを補うため、新たなサービスを構築の検討</p> <p>③ わかりやすい制度・サービスの説明、ケアプランの作成</p>	<p>年間目標金額：</p> <p><u>29,229 千円</u> 介護保険 27,957 千円 総合/予防 1,044 千円 その他 228 千円</p> <p>給付件数（月平均）：</p> <p>介護保険 134 件 介護予防 7 件 総合事業 13 件</p>
<b>(2) 訪問介護事業所</b>		
ヘルパーステーション薬研淵	<p>① 訪問介護</p> <p><b>【経営目標】</b></p> <p>ア 積極的な新規介護利用者の受け入れ</p> <p>イ 効率よい稼働に取り組む、経営安定に繋げる</p> <p>ウ 特定事業所加算取得事業所としての質の向上に努め、資格取得にも取り組む</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>ア 利用者の状態変化に伴う情報提供を迅速に行い、必要な支援に努める。</p> <p>イ 温かみのある対応と丁寧なサービス提供、傾聴に努める。</p> <p>エ 介護技術向上のための研修を計画的に取り組む。</p>	<p>年間目標金額：</p> <p><u>61,488 千円</u> 介護保険 49,150 千円 総合事業 6,628 千円 その他 370 千円 障害福祉 5,340 千円</p> <p>延利用人数（年）：</p> <p>介護保険 10,400 人 総合事業 2,340 人 障害福祉 1,870 人</p>

	<p>② 訪問入浴</p> <p><b>【経営目標】</b>  ア 新規利用の受け入れを積極的に行う  イ チームで協力し、本人・家族の負担なく、喜んでいただける入浴に取り組む。</p> <p><b>【処遇目標】</b>  ア 関係機関と連携し、ご利用者、ご家族が安心できるサービスに努める  イ 温かみのある挨拶と言葉がけを励行する  ウ 感染対策に留意し予防に努める</p>	<p>年間目標金額：  <u>4,928 千円</u>  介護保険 4,147 千円  障害福祉 756 千円  その他 25 千円</p> <p>延利用人数（年）：  介護保険 420 人  自立支援 66 人</p>
<b>(3) 訪問看護事業所</b>		
<p>訪問看護ステーションとおの</p>	<p><b>【経営目標】</b>  ① 毎月、積極的に新規利用者を受け入れ、柔軟なサービス提供に努める  ② 多種多様なニーズに対応できるよう研修に参加・復命し、職員個々のスキルアップに努める  ③ 介護保険、医療保険ともに目標金額を達成する。</p> <p><b>【処遇目標】</b>  ① 医療機関、ケアマネ、各サービス提供事業等、関係機関との情報共有・連携に努め、状態変化時には迅速に対応する。  ③ サービス内容の均一化を図り、感染予防に努め、ご利用者・ご家族様に安心・安全なケアを提供する  ③ 職員一人一人が健康・体調管理に努め、計画的に休暇を取得し、心身のリフレッシュを図る</p>	<p>年間目標金額(看護+リハビリ)：  <u>36,239 千円</u>  介護保険 24,466 千円  介護予防 6,341 千円  その他 126 千円  医療保険 5,306 千円</p> <p>延利用人数（年）：  (看護)  介護保険 1,250 人  介護予防 144 人  医療保険 209 人</p> <p>延利用人数（年）：  (リハビリ)  介護保険 2,025 人  介護予防 960 人  医療保険 258 人</p>
<b>(4) 通所介護事業所</b>		
<p>ふれあいホーム薬研淵</p>	<p><b>【経営目標】</b>  ① 新規利用、臨時利用、利用回数増の希望に対し、柔軟に対応  ② 個別機能訓練の実践を強化(午後の時間帯の実践)  ③ 口腔機能向上の重要性の認識と取り組みの継続  ④ 科学的介護情報システム (LIFE) の活用の継続</p> <p><b>【処遇目標】</b>  ① 接遇の中でも特に「丁寧な言葉」を使いこなしてサービスを提供する  ② 研修の機会を確保する、特に内部研修により知識・技術の標準化を目指す  ③ 気持ちの良い挨拶と安心できる送迎の実践  ④ 利用者の嗜好に合わせた食事の提供。季節感と彩のある食事の提供</p>	<p>年間目標金額：  <u>100,495 千円</u>  介護保険 86,321 千円  総合事業 9,993 千円  その他 2,009 千円  自立支援 2,172 千円</p> <p>延利用人数（年）：  介護保険 8,856 人  総合事業 2,004 人  自立支援 288 人</p>
<p>ふれあいホーム小友</p>	<p><b>【経営目標】</b>  ① 地域で開催される祭り等の行事（観覧）に参加する。  ② 地域住民にふれあいの情報発信として、おたより</p>	<p>年間目標金額：  <u>55,725 千円</u>  介護保険 47,385 千円  総合事業 5,862 千円</p>

	<p>を地域へ配布する。</p> <p>③ 地域住民を主体とした夜学会を開催する。</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① 自己選択できるようなレクリエーション活動の提供をする。</p> <p>② サロン等を活用しながら趣味活動を充実させる。介護福祉士の資格取得を目指し、新たな加算に繋げる。</p>	<p>その他 1,845 千円 自立支援 633 千円</p> <p>延利用人数 (年) : 介護保険 5,386 人 総合事業 1,336 人 自立支援 84 人</p>
ふれあいホーム上郷	<p><b>【経営目標】</b></p> <p>① 上郷町広報誌に記事を掲載、地域 PR を強化</p> <p>② 感染対策を行い、慰問や外での活動を再開</p> <p>③ 体調の変化、早期発見と衛生管理の徹底</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① 身体拘束ゼロの継続と徹底</p> <p>② 職員の研修機会を増加</p> <p>③ 利用者及び関係機関との密接な連携</p>	<p>年間目標金額 : <u>68,775 千円</u> 介護保険 59,360 千円 総合事業 6,379 千円 その他 3,036 千円</p> <p>延利用人数 (年) : 介護保険 6,982 人 総合事業 1,300 人</p>
ふれあいホーム附馬牛 (地域密着型通所介護)	<p><b>【経営目標】</b></p> <p>① 地域密着を目指した情報発信、地域交流の拡大</p> <p>② 新規利用者の開拓、臨時利用の柔軟な受け入れ</p> <p>③ 地区民児協、丸ごと相談員、地区センターとの連携強化</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① 利用者を尊重し、丁寧なサービスの提供</p> <p>② 介護技術の向上</p> <p>③ 季節感、彩のある食事の提供</p>	<p>年間目標金額 : <u>34,803 千円</u> 介護保険 31,305 千円 総合事業 1,697 千円 その他 1,801 千円</p> <p>延利用人数 (年) : 介護保険 3,510 人 総合事業 360 人</p>
<b>(5) 短期入所生活介護事業所</b>		
ショートステイ上郷	<p><b>【経営目標】</b></p> <p>① 新規や追加利用の調整を行い、月 88%以上の稼働率を目指す</p> <p>② 各種研修に参加し、介護技術及び認知症対応力の向上に努める</p> <p>③ 毎月 16 日を感染症等予防対策再確認の日とし、当施設から感染者を出さず、安定した利用者受け入れができる</p> <p>④ 各自が経費削減を意識して業務にあたる</p> <p><b>【処遇目標】</b></p> <p>① 接遇マナーを意識し、丁寧な対応を心掛ける</p> <p>② 利用者それぞれの心身状態に合わせ、自立支援を念頭に入れたサービス提供を行う。</p> <p>③ 関係機関との連携を密に行い、利用者の心身状態の把握に努める</p>	<p>年間目標金額 : <u>88,701 千円</u> 介護保険 66,313 千円 予防事業 1,002 千円 食費居住費 20,570 千円 その他 816 千円</p> <p>延利用人数 (年) : 介護保険 6,275 人 介護予防 150 人</p> <p>1 日平均 : 17.6 人 稼働率(月平均) : 88.0%</p>

## IV 参考

### 令和5年度共同募金委員会関係事業計画（案）

#### 1 赤い羽根共同募金運動

- (1) 令和4年度の全体目標額は6,968千円。実績は6,857千円となり、目標達成率は98.4%となりました。
- (2) 令和5年度年度の目標額は、令和4年度の実績（6,857千円）の1%増とし6,927千円とします。また、各支部の実績に応じて令和6年度各支部に還元することとします。

#### 2 歳末たすけあい募金運動

- (1) 令和4年度の全体目標額は2,724千円、実績は2,570千円となり、目標達成率94.3%となりました。
- (2) 令和4年度の激励金配分は、社協支部及び民生児童委員の協力により該当世帯242件に1,210千円が配分されました。
- (3) 令和5年度の目標額は、令和4年度の実績（2,570千円）の1%増とし2,597千円とします。

#### 3 令和5年度共同募金配分金事業（令和4年度共同募金実績に基づく）

岩手県共同募金会が定める「赤い羽根アクションプランいわて」（2019～2023）の基本方針の安全で安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組む住民を支援するとともに、その活動資金は住民の寄付により集まるという「助成と寄付の循環」の仕組みを目指します。従来の社協の地域福祉事業と各団体への助成事業を実施します。

#### 4 共同募金配分金事業内訳

区 分		内 容		
共同募金配分金				
内 訳	配分金 事業	事 業 名	予算額(千円)	
			事業総額	うち配分 金
		福祉バザー開催事業	150	150
		心配ごと相談運営事業	240	240
		広報・調査活動事業	925	925
		一人暮らし高齢者交流事業(交流会・友愛活動)	660	660
		ふれあいいきいきサロン事業	2,400	1,460
		ふれあいホーム利用者送迎支援事業	550	550
		障がい者等福祉団体運営	708	708
		(うち障がい者福祉団体助成)	(205)	(205)
(うち民生児童委員活動助成)	(442)	(442)		
(わらすっこまつり助成事業)	(50)	(50)		
支部社協活動助成事業	935	935		
一般公募団体助成	700	700		
福祉団体等研修活動促進支援事業	1,722	10		
	小 計	8,990	6,338	
		事業総額	うち募金	
募金事業	歳末たすけあい配分金事業(激励金)	1,600	1,600	
	合 計	10,590	7,938	